ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/07/17 号(As of 2024/07/16)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	158.43 AUD/USD
TKY 9:00AM	158.17	1.0897	172.34	1.2968	0.6762
SYD-NY High	158.85	1.0905	172.88	1.2980	0.6764
SYD-NY Low	158.03	1.0872	172.34	1.2939	0.6715
NY 5:00 PM	158.31	1.0900	172.62	1.2974	0.6734

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,954.48	742.76	日本2年債	0.3100%	▲0.0100%
NASDAQ	18,509.34	36.77	日本10年債	1.0200%	▲0.0300%
S&P	5,667.20	35.98	米国2年債	4.4193%	▲0.0382%
日経平均	41,275.08	84.40	米国5年債	4.0747%	▲0.0588%
TOPIX	2,904.50	9.94	米国10年債	4.1576%	▲0.0727%
ｼｶｺﾞ日経先物	41,585.00	450.00	独10年債	2.4310%	▲0.0375%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,164.90	▲ 18.06	英10年債	4.0480%	▲0.0525%
DAX	18,518.03	▲ 72.86	豪10年債	4.2490%	▲0.0920%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,727.98	▲ 287.96	USDJPY 1M Vol	9.00%	▲0.44%
上海総合	2,976.30	2.29	USDJPY 3M Vol	8.81%	▲0.08%
NY金	2,467.80	38.90	USDJPY 6M Vol	9.10%	0.02%
WTI	80.76	▲ 1.15	USDJPY 1M 25RR	▲1.41%	Yen Call Over
CRB指数	285.79	▲ 2.59	EURJPY 3M Vol	8.19%	▲0.11%
ドルインデックス	104.27	0.08	EURJPY 6M Vol	8.62%	0.03%

【昨日の指標等】

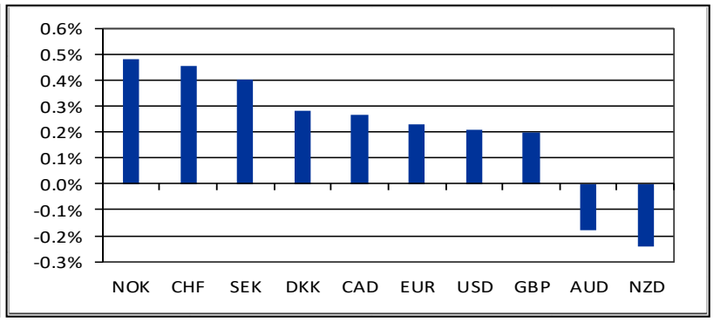
Date	Time		Event		結果	予想
7月16日	18:00	独	ZEW景気期待指数	7月	41.8	41.0
	18:00	独	ZEW調査現状指数	7月	-68.9	-74.8
	18:00	欧	ZEW景気期待指数	7月	43.7	-
	21:30	米	小売売上高速報(前月比)	6月	0.0%	-0.3%
	21:30	米	小売売上高(除自動車/前月比)	6月	0.4%	0.1%
	21:30	加	CPI(前年比)	6月	2.7%	2.8%

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月17日	15:00	英	CPI(前月比/前年比)	6月	0.1%/1.9%	0.3%/2.0%
	15:00	英	CPIｺｱ(前年比)	6月	3.4%	3.5%
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)・確報	6月	0.2%/2.5%	0.2%/2.5%
	21:30	米	建設許可件数/前月比	6月	1400k/0.1%	1399k/-2.8%
	21:30	米	住宅着工件数/前月比	6月	1300k/1.8%	1277k/-5.5%
	22:00	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	6月	0.3%	0.7%
	22:35	米	ウォラーFRB理事 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.50-159.00	1.0850-1.0950	172.00-173.50

【マーケット・インプレッション】

先週の米CPIに続き昨日は加CPIも予想を下回る内容となりインフレの鈍化を期待させる内容となった。本日は6月英CPI、ユーロ圏6月HICP(確)が公表予定。サービス価格中心に予想を下回る内容となれば、先進国でのインフレ鎮静化への期待から債権買いの圧力が高まりやすい。海外金利の低下とともに円は底堅く推移しよう。一方で市場がFRBの9月利下げをほぼ100%織り込む中、一層の円高余地は大きくないとみる。当局による介入警戒も後退、ドル円ボラティリティも落ち着きを取り戻す中、押し目を狙う投機筋の動きも予想される。月末の中銀イベントを前に158円台で拮抗した動きが継続しそう。

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は158.17ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。堅調な日本株の推移を背景にﾄﾞﾙ円はじり高となり、158.79まで上値を拡大。その後は米金利の低下がﾄﾞﾙ円の上値を抑え、結局158.57ﾚﾍﾞﾙで海外に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、158.56ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午後に米指標を控える中、全般にﾄﾞﾙ売り気味の小動き。158.35ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.0886ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。独7月ZEW指数は予想対比でまちまちな結果に反応薄。1.0902ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は157円台後半でｽﾀｰﾄ。日経平均株価の堅調な展開を横目に、ﾄﾞﾙ円は底堅く推移し、158.79まで上昇。しかし、その後は米短期金利の低下を受け反落し、158.35ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米6月小売売上高が予想を上回り、市場はﾄﾞﾙ買いで反応し、158.85まで上昇。その後は買い一巡となり、上昇していた米金利が再度低下する展開に伴い反落し、158.50付近まで値を下げる。午後はｸｰｸﾞﾗｰ・FRB理事が「今後ｲﾝﾌﾚと労働市場で一段の減速が確認されれば、年内の利下げが適切になる可能性が高い」との認識を示すと、158.31まで売られ、そのままｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.08台後半でｽﾀｰﾄ。独金利の低下を受け、1.0884まで下落する場面もあったが、ECBが発表したﾕｰﾛ圏第2四半期銀行貸出調査の中で家計の融資需要が増加した事や、独7月ZEW景気期待指数も予想を上回った事が好感され、買い戻しが優勢となり、1.0902ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は予想より強い米小売売上高の結果を受け、ﾄﾞﾙが買われる中、1.0872まで反落。午後は米金利の低下が支えとなり、1.0905まで反発し、その後1.0900ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:松永・岩下